

令和4年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

所属 遠賀川中流浄化センター
発表タイトル 活性汚泥と水質の関係について
取組の目的 遠賀川中流浄化センターの水処理は1系列のみの運用であるため、系列ごとに運転方法を変えて最適な運転方針を探ることができない。 このことから活性汚泥を観察し、生物相やフロックの状態を把握することで、運転方針を判断するための判断材料を増やすことを目的とした。
取組内容 (1) 週3回、顕微鏡で反応槽の活性汚泥を観察。 (2) 微生物の種類やフロックの状態から水質の変化を予測。
取組成果・効果 (1) 週3回の活性汚泥観察について 現れる頻度の高い微生物の他、水質の変化により出やすい微生物（アスピディスカ、ワムシ類）を確認できた。 (2) 水質変化の予測について 水質データに先駆けて微生物の変化を読み取るには、さらなる観察が必要。